

ICT通信

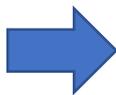


令和4年5月27日

No.4

ICT環境研究開発委員会
(文責 水井裕行)

コンピュータの動きがなにか変。
写真が出てこない。ネットが繋がらない。
コンピュータが動かなくなった。



情報教育部や ICT 委員を呼ぶ前に・・・
そんな場合にやること
やってはいけないこと

1 コンピュータの調子が悪いときに行うこと 「困ったときの再起動」

コンピュータの調子が悪いほとんどの原因は、「メモリ不足」です。連続して使えば使うほどメモリは消費されていきます。「コンピュータの調子が悪いから来てほしい。」と依頼を受けて、そのコンピュータをみると再起動で普通に戻ったというのも少なくありません。調子が悪いときには、まず再起動を試みてください。「困ったときの再起動」と覚えておいてください。



「電源コードと LAN ケーブル、そしてその他のケーブル」

再起動しても変化がない場合、コンピュータについている電源コードと LAN ケーブルを一度抜き差ししてみてください。コンピュータを使っているうちに動いてしまい抜けかけていることが結構あります。きちんとこの2本についてはコンピュータの奥まで差し込んでください。

電源ケーブルと LAN ケーブルの確認ができたなら、それ以外の USB 機器を抜いて（CDやDVDが入っている場合は出して）再起動してみます。これで、他の USB 機器等の不調かどうかわかります。

電源ケーブル・LAN ケーブルは奥まで差し込み、その他の USB のケーブルは外して再起動をお願いします。

2 コンピュータの調子が悪いときに行ってはいけないこと 「強制再起動」

「コンピュータが動かなくなりました。仕方ない強制再起動だ。」は最後の手段です。画面が見えていればタスクマネージャーを起動することができます。また、画面が黒い状態で見えなくても HDD（ハードディスクドライブ）が動いているというランプがついていれば、そのまま放置をおすすめします。30分から1時間で今まで対応したコンピュータの8割は画面が出て、普通に使えるようになりました。

強制再起動をすると何が悪いのかというと、画面が黒い状態でも影の方でコンピュータは動いています。HDD だったり、メモリだったり、いろいろなところが動いています。特に HDD は1分間に7200回転以上をしています。強制再起動によりその回転が急に止まります。そんな状態で HDD に傷がつかないと思いますか。自分で作成したデータなどが消えたり、Windows を起動するための大事なファイルが壊れたりする可能性があります。「強制再起動」は最後の手段としてください。

(Windows10以降では、修復機能が備わっていますが完全ではありません。)

「ハブの LAN ケーブルを抜き差しする」

これは半分お願いになります。自分のコンピュータについている LAN ケーブルの抜き差しは問題ありませんが、机の下などにあるハブについている LAN ケーブルの抜き差しはできれば行わないでください。

ハブの LAN ケーブルを抜き差しする場合には、必ず情報教育部にお声がけください。